

日本の家

1) 居間／リビングルーム

最近の日本の家はアメリカの家と似ています。リビングルームにはソファやテーブルがあります。それに、テーブルでいすに座ってごはんを食べます。でも、最近の日本の家もアメリカの家と少し違います。

2) 玄関

例えば玄関のドアです。アメリカではドアは家の中の方に開けますが、日本ではドアは家の外の方に開けます。そして、日本では家の中では靴を脱がなければいけません。だから、家の中に靴を脱ぐ場所があります。靴を脱ぐ所は家の中より少し低いです。ここで靴を脱いで、家に入ります。そして、家の中ではたいていスリッパを履きます。日本の家には、畳の部屋があります。その部屋は和室と言います。和室ではスリッパを脱がなければいけません。

3) 和室／日本間

最近の日本の家は、和室がない家が多くなりました。でも、自分の家には一部屋だけ和室を作りたいと思う人が多いです。和室には、畳や襖や障子などがあります。畳の部屋では、いすに座りません。座布団や座椅子を使って畳の上に座ります。

4) 押し入れ

最近ではベッドで寝る日本人が多くなっています。でも、和室では、たいてい布団を使って寝ます。押し入れは、布団をしまうスペースです。それから、そこに夏には冬の服をしまったり、冬には夏の服をしまったりもします。

5) 床の間

和室には床の間がある部屋があります。床の間には、季節に合った生け花を飾ったり、掛け軸を掛けたりします。

6) 神棚 と 仏壇

神棚には、神道（日本に昔からある宗教）の神を祭ります。仏壇は、先祖を祭るところで、これは仏教の習慣です。昔の家の中には神棚も仏壇もある家が多かったですが、最近は神棚がない家や小さい仏壇を置く家が多くなりました。

7) トイレとお風呂

日本では家の中でスリッパをよく履きますが、トイレにはトイレのスリッパがあります。

トイレもアメリカのと少し違います。アメリカと同じで、座るトイレが最近が多いと思いますが、日本の昔からあるトイレでは座りません。しゃがんで使います。また、アメリカではトイレはお風呂と同じスペースにありますが、日本ではトイレはたいていお風呂と違うスペースにあります。だから、誰かが入浴中もトイレに入っても大丈夫です。それから、アメリカと同じで、狭いアパートではお風呂とトイレが一緒です。

日本のお風呂では体を洗うスペースがあります。お風呂の湯ぶねの中では体を洗ってはいけません。体が温かくなるので、日本人は朝より夜お風呂に入る方が好きです。

8) 暖房

もう一つ違うことがあります。日本にはセントラルヒーティングがありません。たいてい寒い時には、電気ストーブやヒーターを使いますが、夜は消して寝ます。だから、夜トイレに行きたい時はとても寒くて大変です。

MIT OpenCourseWare
<http://ocw.mit.edu>

21F.502 / 21F.522 Japanese II
Spring 2013

For information about citing these materials or our Terms of Use, visit: <http://ocw.mit.edu/terms>.